



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社 ヨロズ

上場取引所 東

コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務部長 (氏名) 佐草 彰 TEL 045(543)6802

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	99,362	18.7	4,695	△3.9	5,912	15.0	2,976	△2.1
25年3月期第3四半期	83,732	10.7	4,886	△25.5	5,138	△22.1	3,041	△19.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,808百万円 (140.4%) 25年3月期第3四半期 3,664百万円 (134.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	147.73	146.67
25年3月期第3四半期	151.05	150.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	122,894	70,256	47.8
25年3月期	111,170	61,883	46.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 58,707百万円 25年3月期 51,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	24.8	7,700	8.3	9,200	9.5	4,900	△7.6	243.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	21,455,636 株	25年3月期	21,455,636 株
26年3月期3Q	1,299,991 株	25年3月期	1,318,475 株
26年3月期3Q	20,150,838 株	25年3月期3Q	20,134,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務危機に見舞われた国々の景気がようやく下げ止まり始め、また、米国及び中国では景気回復基調にあるなど、総じて緩やかな回復状況が見られたものの、堅調であった新興諸国の経済成長の鈍化等により先行き不透明な状況が続いております。

一方、日本経済は、消費者マインドの改善に加え雇用・所得環境に持ち直しの動きがみられ、公共投資による復興需要や緊急経済対策の効果など、順調な回復基調がみられました。

当社グループが関連する自動車業界におきまして、国内市場では、エコカー補助金打ち切り以降、落ち込んでいた販売も新車効果と軽自動車の好調な販売に支えられ、回復しております。海外市場におきましては、インドでは国内販売の減少及び欧州向け輸出の低迷が続いており、タイではエコカー減税終了以降国内販売が減少に転じております。一方、米国及びメキシコでは増産傾向が続いており、中国では日系メーカーの販売台数も回復しております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は、円高是正による増加効果もあり前年同期比18.7%増の99,362百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続しておりますが、前期に引き続き新拠点の操業開始コストや既存拠点の新車立上げ費用の発生、労務費増加等の要因により、営業利益は前年同期比3.9%減の4,695百万円、経常利益は為替差益計上などに伴う営業外損益の改善により前年同期比15.0%増の5,912百万円、四半期純利益は税金費用の負担増により前年同期比2.1%減の2,976百万円となりました。

①日本セグメント

主要得意先であります日産向けの売上が減少したことなどにより、売上高は前年同期比2.8%減の36,870百万円となりましたが、ロイヤルティ収入の増加等により、営業利益は前年同期比50.4%増の4,139百万円となりました。

②米州セグメント

米国での売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比36.9%増の37,969百万円となりましたが、米国での設備能力不足に起因する利益水準の低迷に加え、メキシコ及びブラジルの新拠点立上げ費用の発生等により、営業利益は前年同期比73.0%減の237百万円にとどまりました。

③アジアセグメント

得意先の生産拡大による売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比28.8%増の34,722百万円となりましたが、タイでの中国からの生産補完に伴う物流費やその後の需要減少、新拠点立上げ費用の発生、中国での新車立上げ費用の発生などにより、営業利益は前年同期比45.6%減の1,041百万円にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,776百万円減少の55,864百万円となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が4,806百万円増加したものの、「現金及び預金」が9,000百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ14,500百万円増加の67,030百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が6,976百万円増加、「その他」に含まれる建物が2,540百万円増加、工具器具備品が1,465百万円増加したことなどによりです。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ11,723百万円増加の122,894百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ4,618百万円増加の29,208百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が2,438百万円増加、「電子記録債務」が1,331百万円増加したことなどによりです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,267百万円減少の23,428百万円となりました。これは、「長期借入金」が1,443百万円減少したことなどによりです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ3,350百万円増加の52,637百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ8,373百万円増加の70,256百万円となりました。これは、「利益剰余金」が2,473百万円増加、「その他の包括利益累計額」のうち「為替換算調整勘定」が3,397百万円増加、「その他有価証券評価差額金」が812百万円増加したことなどによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年11月8日に公表いたしました平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の通期業績予想を下表の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成26年3月期 連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年11月8日 発表)	百万円 136,000	百万円 7,150	百万円 7,500	百万円 3,900	円 銭 193.49
今回修正予想(B)	138,000	7,700	9,200	4,900	243.11
増減額(B-A)	2,000	550	1,700	1,000	—
増減率(%)	1.5	7.7	22.7	25.6	—
前期実績(平成25年 3月期)	110,550	7,107	8,403	5,301	263.28

2. 修正の理由

当第3四半期の実績及び課題となっている米国及びタイ拠点を含む最近の状況を踏まえ、更に為替相場がこれまでの想定レートより円安になっている現状を考慮し、見直したことによります。

なお、通期連結業績予想に使用している換算レートは、次の為替レートを前提にしております。

1USドル=97.73円（注1）、1メキシコペソ=7.66円（注1）、1ブラジルリアル=45.00円、
1タイバーツ=3.18円（注1）、1中国元=15.92円（注1）、1インドルピー=1.75円、
千インドネシアルピア=9.50円

*上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

（注1）12月決算のため換算レートは確定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,193	16,192
受取手形及び売掛金	17,213	22,019
製品	4,268	4,361
原材料及び貯蔵品	348	703
部分品	1,849	1,992
仕掛品	3,316	3,111
その他	6,464	7,499
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	58,640	55,864
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	20,285	27,262
その他(純額)	23,153	28,764
有形固定資産合計	43,439	56,026
無形固定資産		
投資その他の資産	735	919
固定資産合計	8,355	10,084
固定資産合計	52,530	67,030
資産合計	111,170	122,894
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,497	13,936
電子記録債務	1,216	2,548
1年内返済予定の長期借入金	2,114	2,494
未払法人税等	1,524	1,585
賞与引当金	906	1,021
役員賞与引当金	72	63
その他	7,257	7,558
流動負債合計	24,590	29,208
固定負債		
長期借入金	21,809	20,365
退職給付引当金	1,282	1,138
その他	1,604	1,924
固定負債合計	24,696	23,428
負債合計	49,287	52,637

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	7,000	7,004
利益剰余金	52,147	54,620
自己株式	△1,150	△1,134
株主資本合計	61,469	63,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607	2,420
為替換算調整勘定	△10,720	△7,322
在外子会社の年金債務調整額	△436	△353
その他の包括利益累計額合計	△9,549	△5,255
新株予約権	169	209
少数株主持分	9,794	11,340
純資産合計	61,883	70,256
負債純資産合計	111,170	122,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	83,732	99,362
売上原価	72,111	86,711
売上総利益	11,621	12,650
販売費及び一般管理費	6,734	7,955
営業利益	4,886	4,695
営業外収益		
受取利息	88	92
受取配当金	91	104
為替差益	82	1,340
その他	130	123
営業外収益合計	392	1,661
営業外費用		
支払利息	118	106
子会社開業準備費用	2	319
その他	19	18
営業外費用合計	139	444
経常利益	5,138	5,912
特別利益		
固定資産売却益	1	10
保険解約返戻金	5	35
特別利益合計	7	46
特別損失		
固定資産廃棄損	8	101
その他	9	6
特別損失合計	17	107
税金等調整前四半期純利益	5,128	5,851
法人税等	1,487	2,435
少数株主損益調整前四半期純利益	3,641	3,415
少数株主利益	599	438
四半期純利益	3,041	2,976

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,641	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	812
為替換算調整勘定	△1	4,482
在外子会社の年金債務調整額	34	98
その他の包括利益合計	23	5,393
四半期包括利益	3,664	8,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,011	7,270
少数株主に係る四半期包括利益	652	1,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	29,384	27,427	26,920	83,732
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,536	314	48	8,900
計	37,921	27,742	26,969	92,633
セグメント利益	2,752	879	1,914	5,545

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,545
セグメント間取引調整額	△659
四半期連結損益計算書の営業利益	4,886

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	26,969	37,749	34,643	99,362
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,901	220	79	10,200
計	36,870	37,969	34,722	109,562
セグメント利益	4,139	237	1,041	5,418

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,418
セグメント間取引調整額	△723
四半期連結損益計算書の営業利益	4,695